



チバニアンの背景—IUGS（国際地質科学連合） の活動と日本の貢献

北里 洋

（IUGS執行理事（財務担当）、東京海洋大学）

「チバニアン」



(2020年1月17日、IUGS理事会@Busanにおいて承認・認定)

意義：

- 1) 更新世中期基底のGSSPが太平洋の新生代の地層に置かれることになった（新生代については、それまで欧米地域、とくに地中海のイタリアで定義されていた）。
- 2) 「千葉」という名前が地質年代表に掲載された。
- 3) 太平洋の新生代の地層記録の重要性が認知された。とくに、地磁気の反転記録が他地域より優れていることが認知された。日本の地質科学の歴史と研究の精度が高いことを評価されたことを示す。
- 4) 何より、一般市民の記憶に「チバニアン」、「千葉時代」が残るようになった。日本政府、千葉県、市原市、そして日本の科学コミュニティは、「チバニアン」を維持する責任を負った。

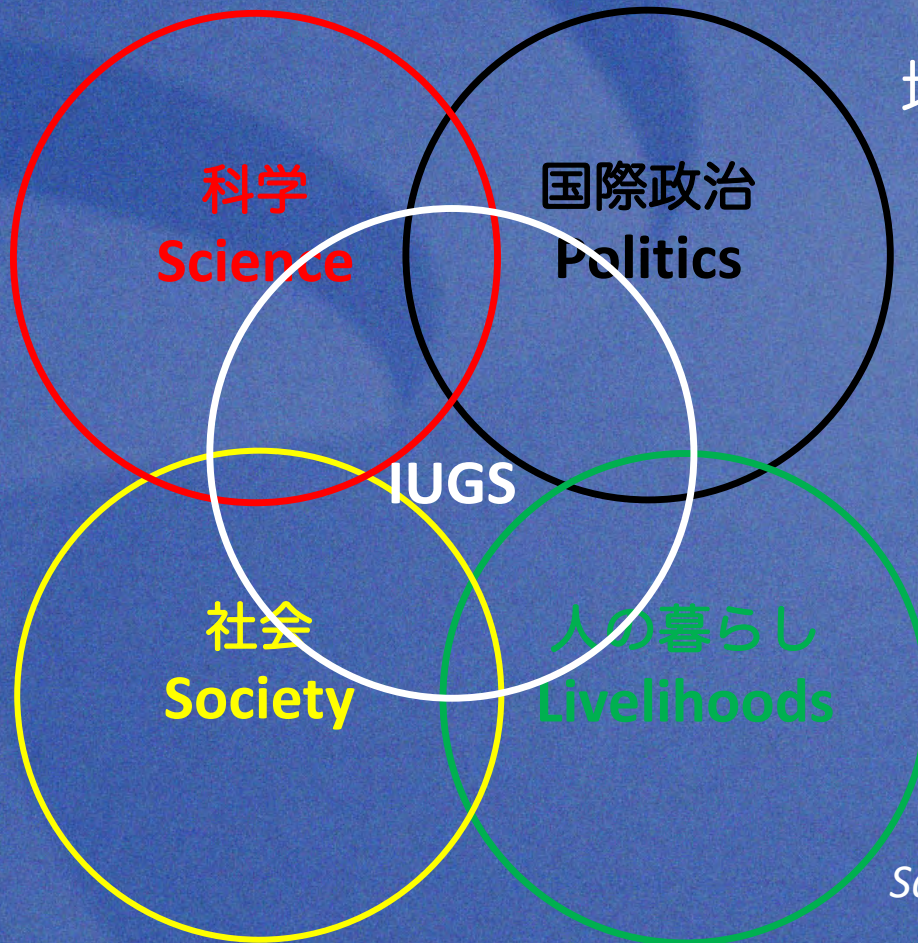
国際地質科学連合

International Union of Geological Sciences (IUGS)



- 設立 **1961年、パリ**。 ミッションは世界の地質コミュニティーが一丸となって地球科学の振興と発展を促し、そして地球規模の問題を地質科学の視点からの解決を目指す。
- 1,000,000 人を超える世界の地質科学の研究者＋技術者のための科学組織
- 全球規模の、公平な、**非政治的な** **そして どの政府にも加担しない**組織 (アメリカ財務省認可によるNGO)
- ISC 傘下で、数学、物理、などと並ぶ大規模科学組織
- **122** 各国が加盟 (member country)
- **57** 国際学協会が提携 (affiliation)

IUGS のポジショニング



地球規模課題への取
り組み

資源
|
災害
|
環境

*Science for Society !
Science for Global well-being !*

新しい地球観への挑戦 (IUGS)



- 未知への挑戦！
- Digital Data Scienceに向けた標準化とデータ統合
- 「国境なき科学」しかし国境はあり、人々の暮らしがある (Global seamless Geological data integration both on land and under the sea)
- Interdisciplinarity から Transdisciplinarity へ
(Science for Science to Science for Society, and further to Science for human well-beings)
- 「誰ひとり取り残さない」ことを目指す地球の科学